

佐倉市立根郷小学校ESD講演資料

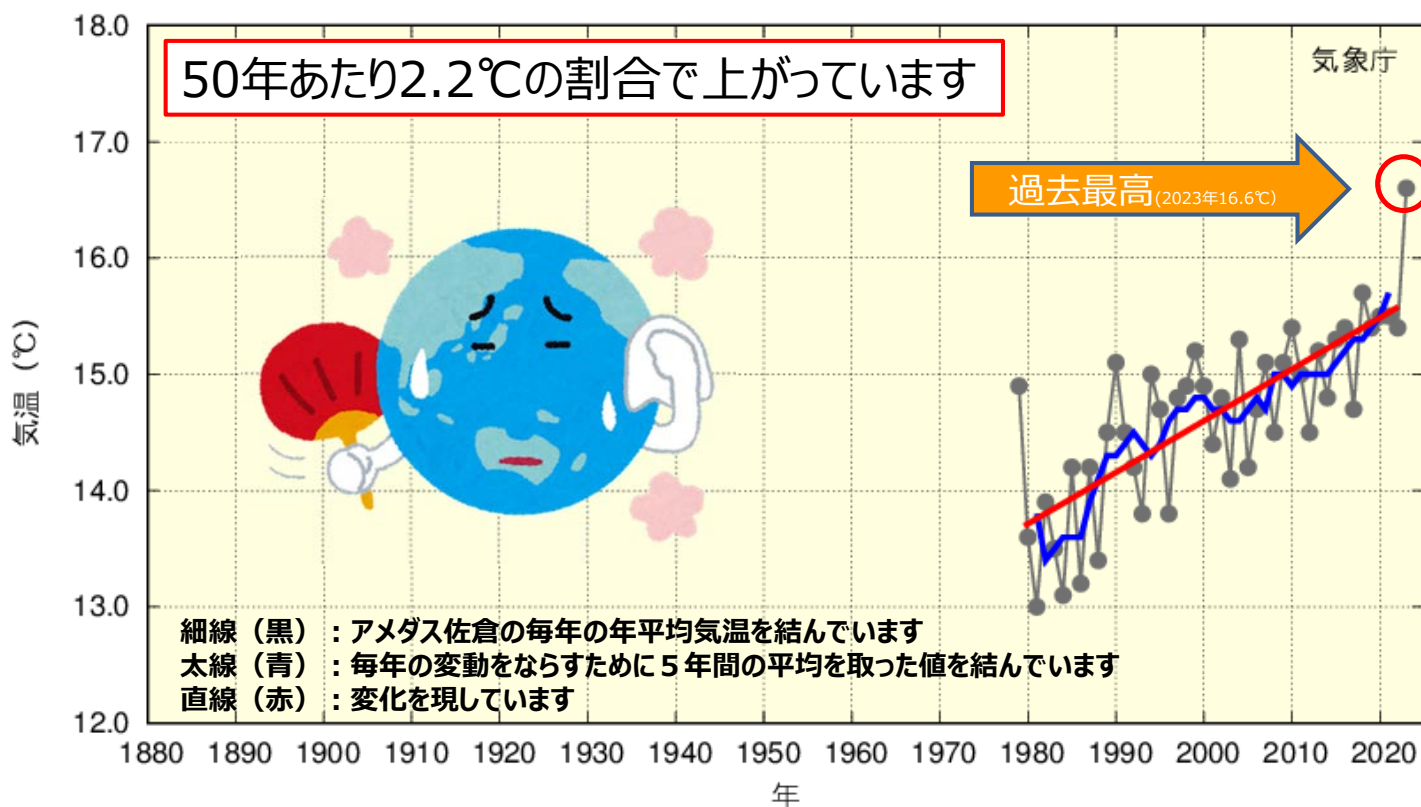
令和6年2月1日
銚子地方気象台



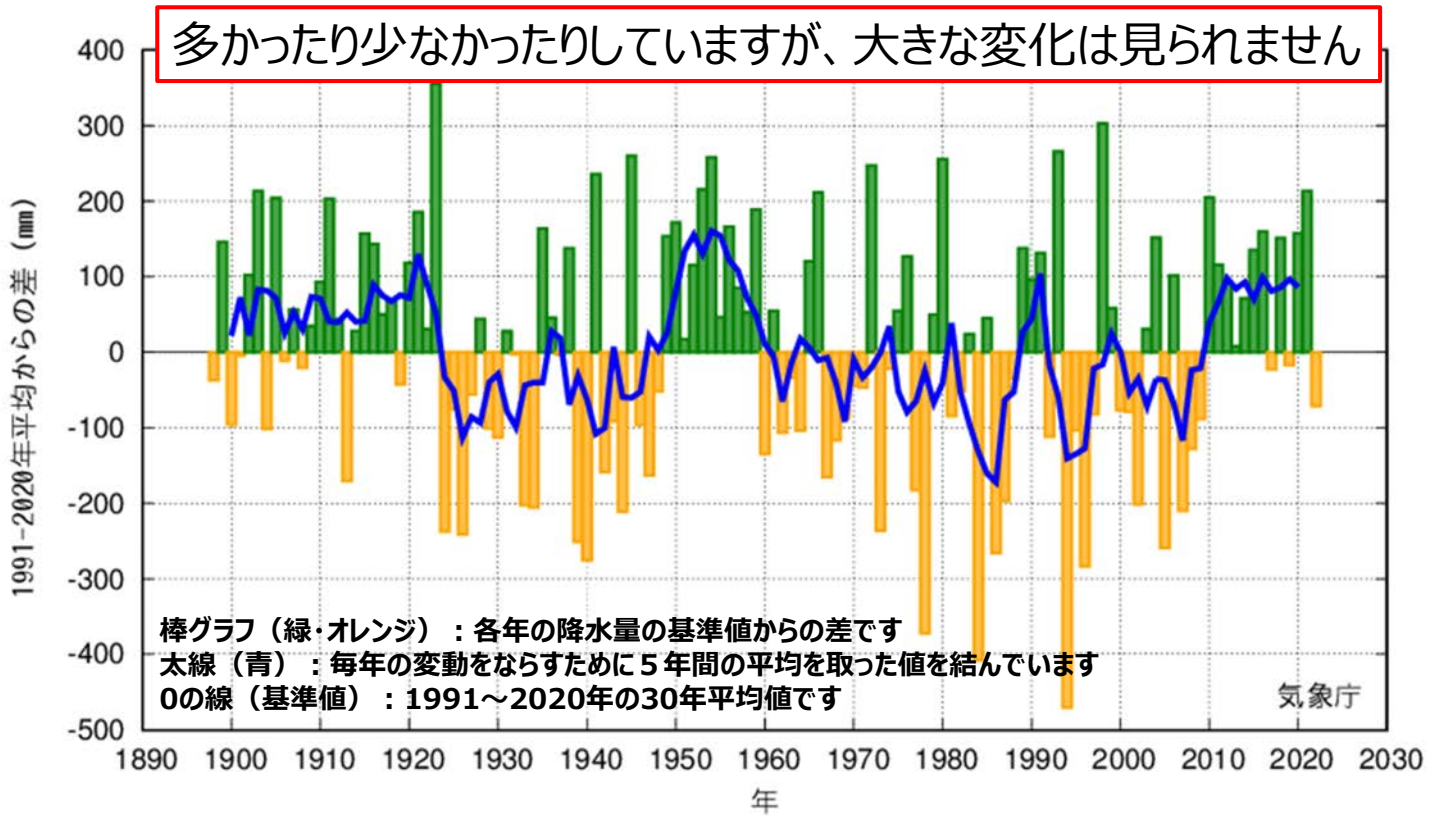
気象庁マスコット
キャラクター はれるん

気候・気候変動とは

アメダス佐倉（佐倉市角来）の年間平均気温の変化（1979～2023年）

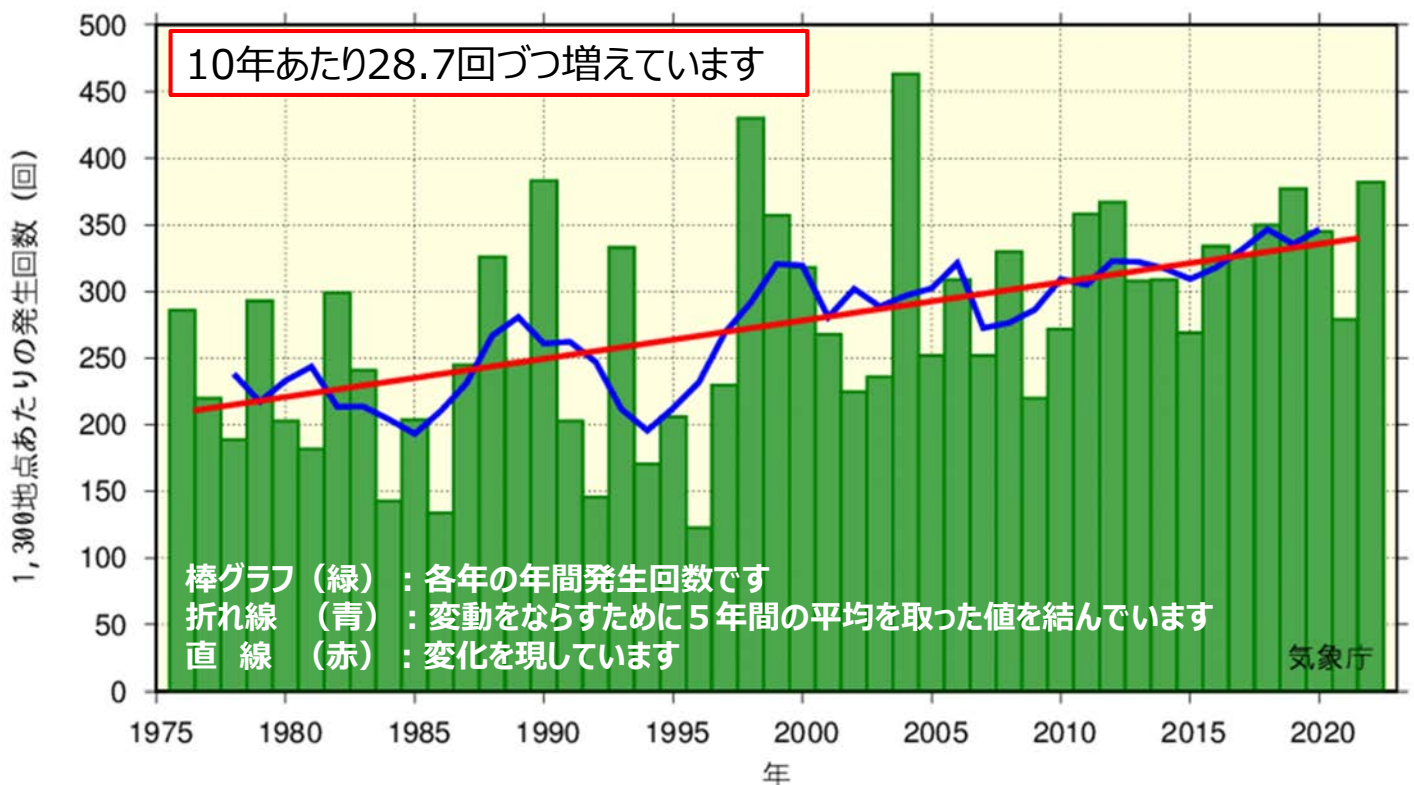


日本の年間降水量の変化（1898～2022年）

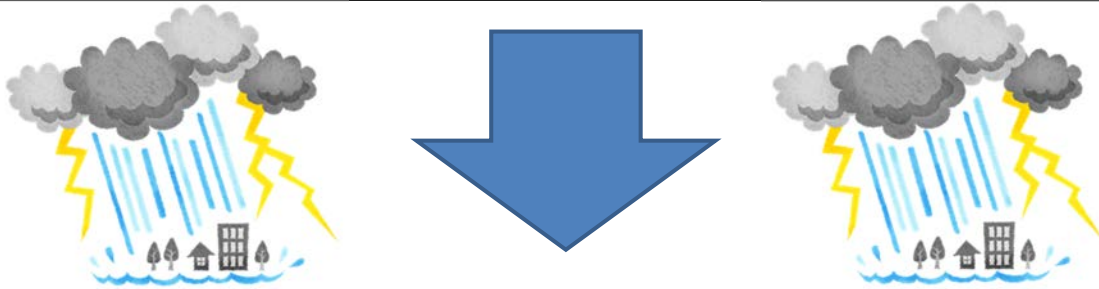


全国のアメダス観測所における大雨の年間発生回数の変化

全国アメダス観測所での1時間降水量50mm以上（短い時間に降る大雨）の大雨の年間発生回数の変化（1976～2022年）



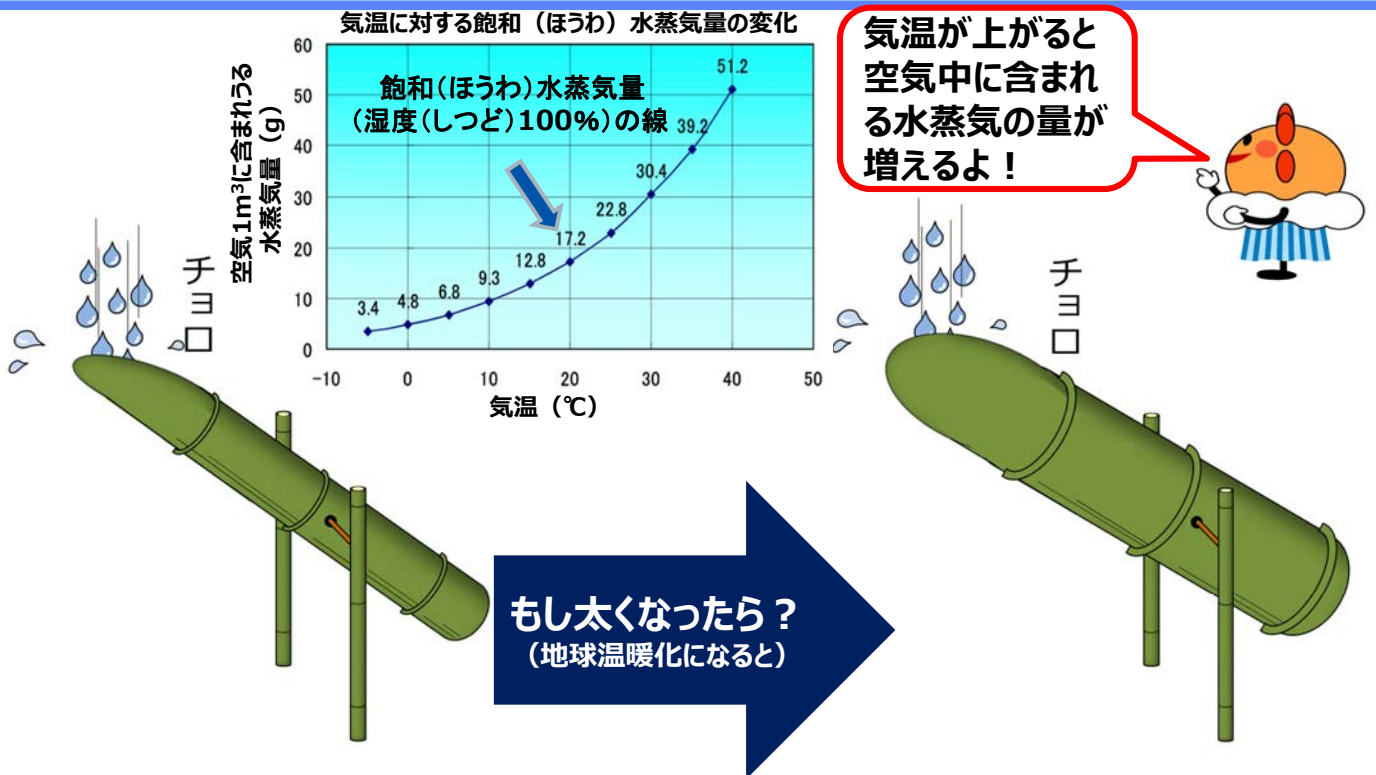
- 年間の平均気温は、年々上がっています。
- 年間の降水量は、多い年や少ない年があったり変化はありますが、大きな変化は見られません。
- 1時間降水量50mm以上（短い時間に降る大雨）の大雨の回数は増えています。



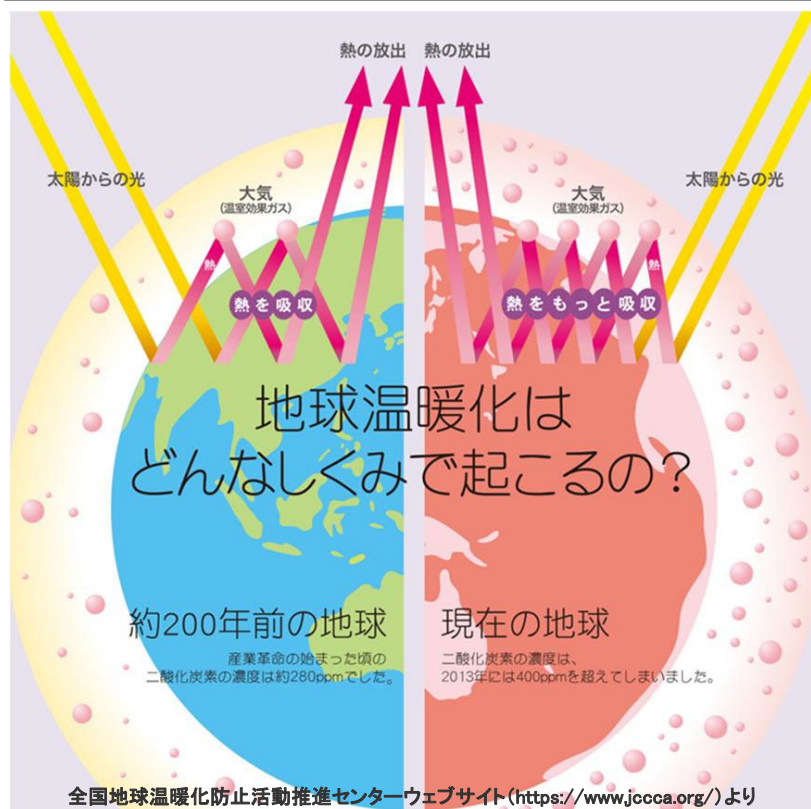
**昔に比べ雨の降り方が
違ってきています！**



雨の降り方がこれまでと違う仕組み(イメージ)



➤ **地球温暖化とは、二酸化炭素などが**増えていること**により、**地球規模** (きぼ) で**気温や海水温**が**上がっている現象**です。**



もし、地球に大気がなかったら地球の平均気温は
マイナス19℃

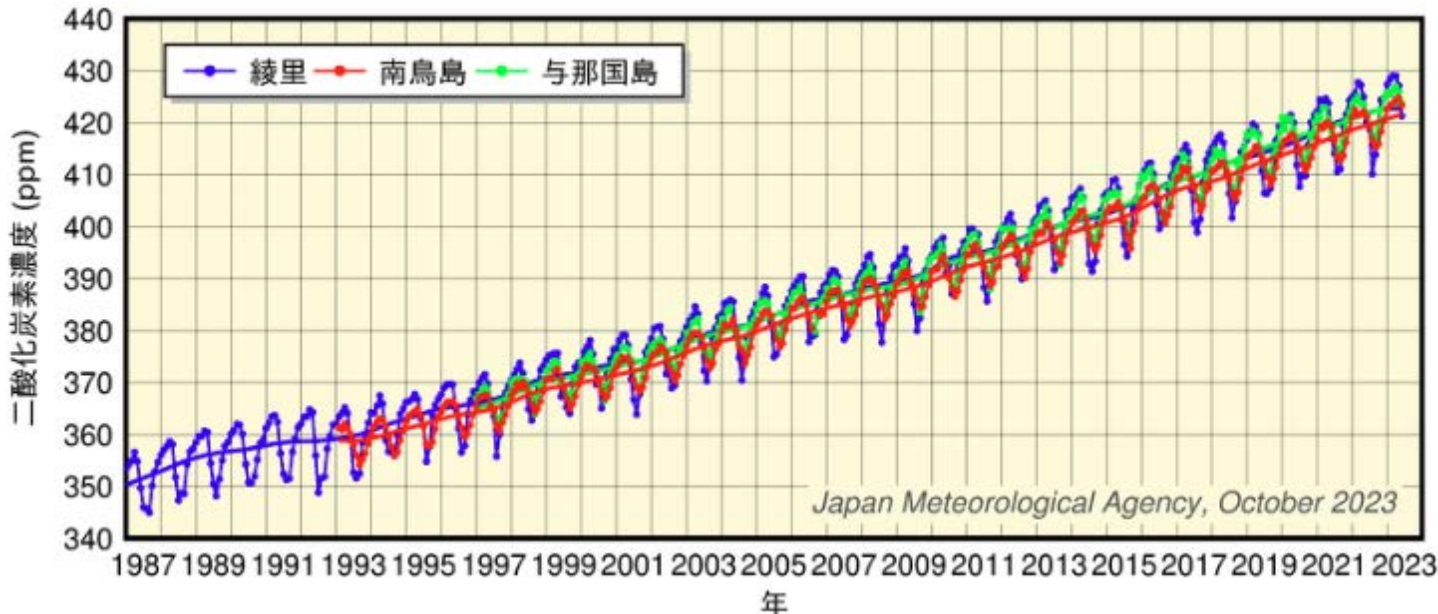
↓
実際の地球の平均気温は
約15℃

↓ **どうしてかな？**
二酸化炭素などがあるから
↓
二酸化炭素などが**多量**に出た結果、**熱をもっと吸収**して、**気温が上がっている**

大気中に含まれる二酸化炭素の変化

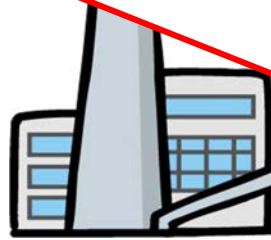
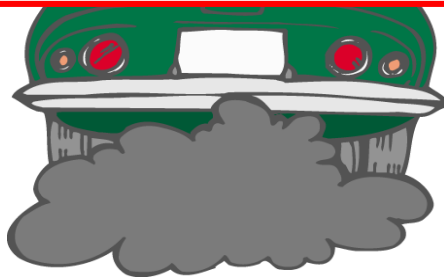
- 大気中に含まれる**二酸化炭素は年々増えています**。
- 2022年の大気中に含まれる二酸化炭素は、**1750年以前**の値と比べて、**約1.5倍**となりました。

日本国内の観測所での大気中に含まれる二酸化炭素の変化 (1987~2023年)



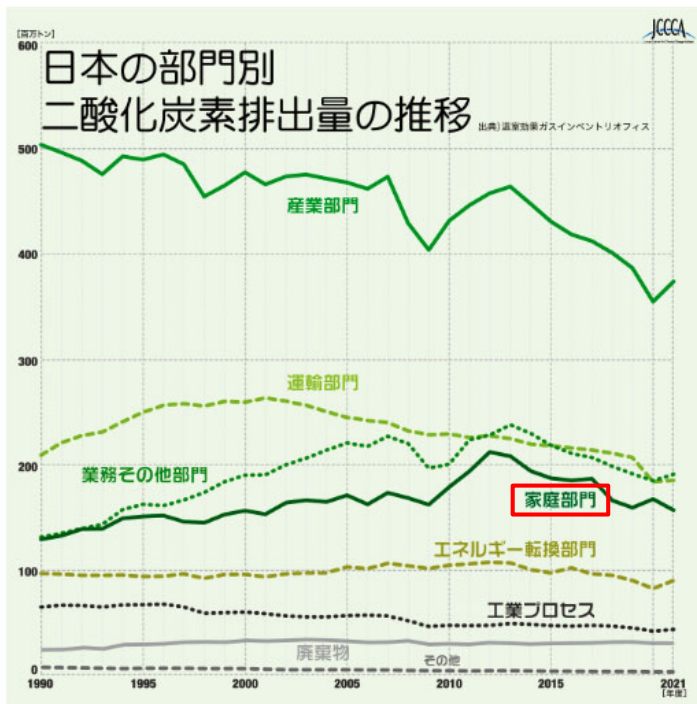
※ppmは大気中の分子100万個中にある対象物質の個数を表す単位

私たちの日常生活のどんな 所から多くの二酸化炭素 が出ているのかな？ 考えてみよう！

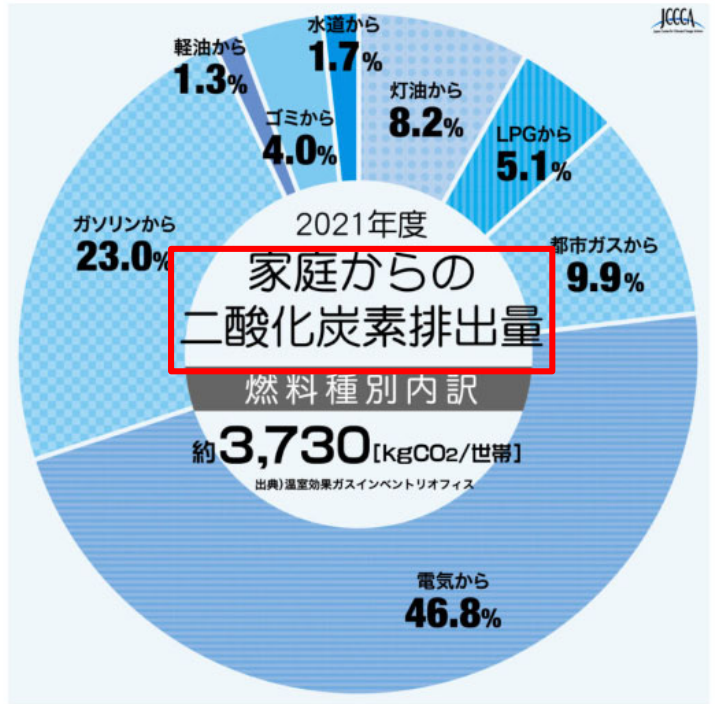


石油使用量の増加

日本の二酸化炭素排出量(はいしゅつりょう)(部門別、家庭の内訳)



出典) 温室効果ガスインベントリオフィス



出典) 温室効果ガスインベントリオフィス

今後、二酸化炭素を出すことを少なくする対策をしなければ、今よりもっと気温が上昇する予測となっている。私たち一人一人が日常生活の中で、少しでも二酸化炭素を減らすためにできること（省エネなど）を、友達や家族と一緒に考えてみよう！